

温故知新

日野歴史探訪

私たちの住む日野町には、52の大字があり、それぞれの地域が豊かな自然と歴史文化で彩られています。温故知新では、町内各大字の歴史と代表的な文化財をシリーズで紹介していきます。

日野祭総合調査が始まりました

日野町教育委員会では、令和7年度から9年度の3年間にわたり、文化庁の支援を受けて日野祭総合調査を実施していきます。

日野祭総合調査は、行事の内容、曳山、祭を担う組織・団体の役割等、日野祭に関わる事柄を総合的に調査・記録し、あらためてその価値を明らかにするとともに、日野の「たから」である日野祭を次世代に保存・継承していくために、地域総がかりで調査を進めていきます。調査へのご理解・協力をお願いします。

境内の曳山と神幣の引取(令和7年)



神社のお祭りを「郷祭り」といい、日野祭は、郷の祭りと都市の祭りの要素を色濃くあわせ持ちながら発展してきた湖東地域を代表する祭りの一つです。

渡御行列と曳山

渡御行列の先頭は、芝田楽とも称される「神調社」と3人の「神子」で、上野田の人々によって担われます。早朝より五社神社(上野田)へ集合し、馬見岡綿向神社に向けて出発し、宮入

神子・神調社の宮入(令和7年)



古からの伝統 日野祭

今年も5月2日から4日にかけて、日野祭が賑々しく催行されました。日野祭は、日野町内に広大な氏子圏(西大路・村井・大窪・松尾・上野田を中心に、日田・木津・河原を含む8つの大字)をもつ馬見岡綿向神社(村井)の春の例大祭で、約850年の歴史を誇ります。昭和60年3月29日に「日野曳山祭」として滋賀県指定無形民俗文化財になっています。

2日に宵宮、3日に本祭、4日に後宴が行われますが、3日の本祭では、村井にある神社と上野田にある御旅所(雲雀野)との間を神子・神調社や神輿などの行列が渡御する古式ゆかしい「神幸の祭り」と、西大路・村井・大窪の3つの大字から出される16基の曳山を中心とした「曳山の祭り」があわせて行われているところに特徴があります。

氏子圏内の複数の村が共同して行う

◆問い合わせ先

近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」

☎0748-52-0008



みんなのとしょかん



本の紹介

『なぜ、あなたの料理はちょっとマズイのか?』

小田 真規子／著 講談社

日々料理を作っていて、「もう少しおいしく作れたらなあ」と思うことはありませんか? 「何を作っても60点」な編集者が、料理のプロに習ってみたら、野菜の洗いや調理器具の選び方など“レシピ以前”の超基本的なことで目から鱗の新しい発見がありました! これで、明日からの料理がちょっと変わるかもしれません。



図書館からのお知らせ

○レファレンスサービスのご案内

図書館では、利用者の皆さまの調べ物のお手伝いをさせていただく「レファレンスサービス」を行っています。読みたい本が見つからないときや、わからないことを調べたいときは、お気軽にカウンターにご相談ください。図書館の資料やオンラインのデータベースを使って調べします。

行事予定

※行事・サービスは中止になる場合があります。

「おはなし会」 6月14日(土) 11:00～(30分程度)
テーマ「あめふり」※工作会も行います。

「おひざでだっこのおはなし会」
6月21日(土) 11:00～(20分程度)
3歳くらいまでの親子を対象に絵本や手遊び、わらべうたなどをしています。

「託児サービス」 6月11日(水)、18日(水) 10:00～12:00
0～3歳のお子さんが対象です。

「えいが会」 6月15日(日) 14:00～『いちげき』
2023年/日本(89分)

6月							7月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
						1	1	2	3	4	5	6	
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23/30	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			

■…休館日 ○…えいが会 ◇…託児サービス
■…おはなし会 □…おひざでだっこのおはなし会

◆問い合わせ先 日野町立図書館
☎0748-53-1644

本年も町外から多くのお客様がお見えになりました。蒲生氏郷公のご縁で三重県松阪市や福島県会津若松市の皆様のほか、日野商人としてご縁の深い埼玉県秩父地域や群馬県桐生市の皆様もお越しになりました。皆様一様に「すばらしい」と言ってくださいます。ただ、すばらしいお祭りの陰には、

本年も5月3日(土)、晴れ渡る青空のもと日野祭本祭が行われました。お祭りをとり仕切る神調社・神子等の渡御やお神輿の繰り出し、各町内の曳山がそろい、今年もすばらしいお祭りでした。町が今まで繁栄し平穏な毎日を送ることができているのも、お祭りにて町の無事が祈念されているからと存じます。携わっていただいている皆様に心より感謝を申し上げます。

青雲之志

～町長コラム～

日野町長 堀江 和博

日野祭と総合調査

総合調査では、そういった地元元がどういった体制でお祭りを支えておられるかも調査対象となっており、支援体制など今後の日野祭のあり方についても議論される必要があります。国指定の文化財の大前提として、次世代に受け継がれる持続可能なお祭りであることが最も大事なことです。調査を契機にして、持続可能な行事のあり方についても議論してまいりたく思います。引き続きのご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご地元の並々ならぬご尽力があることを忘れてはなりません。時代の変化とともに、担い手不足や地元負担などの課題も顕在化しています。本年から日野町文化財保存活用地域計画に基づき、文化庁の支援を受けた日野祭総合調査事業が実施されています。お祭り当日には、黄色の腕章をつけた調査員が、各所で写真撮影などを行っている姿をご覧になったことと思います。今年度を含めて3年にわたり調査を行い、報告書を作成します。日野祭の学術的価値を示すことにより、国の文化財指定をめざしたいと考えています。